

天候不順の影響もあり低調に推移

6月の業界WEATHER

全業種平均



前年同月比

概況

梅雨入りし、集中豪雨等の天候不順や中国・韓国等の景気減速懸念の影響等から生産・流通ともに低調に推移している。また、一部を除き、販売価格の下落やコストダウン要請等もあり、依然として厳しい状況が続いている。

製造業	食料品		パンは価格上昇の消費者理解を得たが、原材料高と人手不足が悪影響を及ぼしている。菓子は天候不順の影響があり低調気味である。製麺は生・乾麺ともに荷動き鈍く、厳しい状況が続く。酒造は普通酒の大幅減が影響し売上が減少している。
	繊維・同製品		婦人服地は秋物が前年同様活発化、和装織物は夏物の販売会向け出荷で多忙である。伊勢崎織物は今後の催事販売会開催による売上増に期待している。繊維製品は海外との価格差が大きく、国内工場では採算が取れず受注量も減少している。
	窯業・土石製品		生コンは官民需要多く、6月上売では数年ぶりの高い伸びである。コンクリートブロックは天候不順と住宅着工数の伸び悩みが影響し、横ばいから減少傾向である。砕石は地域間でのバラつきはあるが、全体の景況感は悪化傾向である。
	機械・金属		仕事量は増加傾向だが、短納期・単価引下げ要請等あり、厳しい状況が続く。前橋金属団地内に太陽誘電系列企業の工場が進出し、団地の活性化に期待している。鍍金は中国・韓国等の景気減速の影響もあり、生産量が激減している。
	その他の製造業		製材は単価下落が止まらず、低迷続く。印刷は売上減少が続き、企業間格差も進む。ゴム製品は元請の景況悪く、受注が減少している。紙加工品は販売価格が下落傾向で、一般品が戻りを見せるも、全体では厳しさが続く。
非製造業	卸売業		高崎と前橋の卸団地は連携や流・卸商業団地の発展向上に資するための覚書を締結した。農産物卸は作物の水不足が改善されるも、雨風によるハウスの倒壊等の被害がみられる。水産物卸は販売価格上昇等により好調に推移している。
	小売業		燃料小売価格は前年比4～5円/ℓ下落し、売上高はやや減少している。商店街は各地で販売されたプレミアム商品券の利用状況にはバラツキが見られる。生花小売は「ジュンブライド」、「父の日」も盛り上がり欠けた。
	サービス業		温泉旅館は大型・中小施設でのバラつきが見られ、草津は団体の低調が目立つ。自動車整備は例年並みに推移している。不動産取引は太陽光発電用地の引合いは減少、別荘・田舎暮らし物件、サービス付高齢者住宅の需要が増加している。
	建設業		電気工事は受注量の増加傾向が続く。塗装工事は仕事の確保難で、見積もり段階で単価を下げて受注を確保する企業が散見される。全体では依然として人手不足が続き、今後の更なる技能者不足が懸念される。
	運輸業		一部自動車部品を除き、飲料水や野菜を含め荷動きは依然鈍く先行きが不透明である。燃料価格は1月から毎月上昇しており、今後の価格動向を注視している。小口輸送は自動車部品・食料品・資材等の件数が大幅に減少している。

※本調査は、情報連絡員56人が所属する組合の全体的な景況（前年同月比）です。

県内の主な経済指標

- 鉱工業生産指数(季節調整値) 107.6(前月比+1.4%)「県統計課・5月」
- 販売電力量 111,428万KWh(前年同月比▲2.1%)「東電群馬支店・5月」
- 住宅着工戸数 1,096戸(前年同月比+39.8%)「県建築住宅課・5月」

- 求人倍率(季節調整値) 新規1.93倍・有効1.26倍「群馬労働局・5月」
 - 大型小売店販売額 230億円(前年同月比+5.5%)「経済産業省・5月」
 - 消費者物価指数(全国) 104.0(前年同月比+0.5%)「総務省統計局・5月」
- 〈鉱工業生産指数は17年=100とした指数・消費者物価指数は22年=100とした指数〉